

壬生野地域まちづくり協議会
〒519-1424 伊賀市川東 4539 番地の 4
壬生野地区市民センター内
Tel:(45)8900・Fax:(45)8901
E-mail tokimeki@ict.ne.jp
URL http://www.mibunone.net



人権懇談会を開催

人権・同和実行委員会、女性活動実行委員会

「男性の家事への参画なくして、女性の公の場への参画なし」 おおよけ

去る 1 月 5 日、壬生野地区市民センターにおいて、人権・同和実行委員会と女性活動実行委員会との人権懇談会を行いました。この懇談会は、人権・同和実行委員会が「性別に関係なく協議の場に参画することができる地域づくり」をテーマに開催しました。

とは言え、そんな堅苦しい話し合いでは、集まってくれる人もいないし、懇談にならないということで、味飯、豚汁、サラダ等を一緒に作って食べながらの懇談となりました。

男性参加者は、危なかしい手つきで調理している方が多かったのですが、唯一、西口文世さん(川東区長)だけは鮮やかな包丁さばきで、誰もがとれるほどでした。自ら調理することで、材料の切り方、味付けなど難しいことばかりであることを認識しました。また、女性の公の場への参画を拒んでいるのは、女性に家事を押し付けてきた私たち男性であることにも気付きました。



懇談では「女性活動実行委員会」という委員会がなくても、それぞれの委員会に女性が参画して協議や活動ができるのが理想です。しかし、すぐにたくさんの女性が参画できるような社会や家庭にならないので、それまでの間、この委員会でも地道な活動を続けていくなかなかの難しさがある……。

いけど、男性向けの料理教室を開催するのもいいかも……などさまざまな意見が出されました。

共に調理し懇談することで、人間関係が豊かになり、様々な意見を聞き地域づくり活動への活力が湧いてくる有意義な懇談会でした。

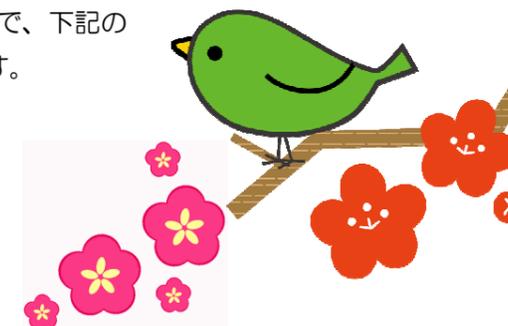
(文責：人権・同和実行委員長 山本真司)



梅見ウォーキングのお知らせ

まちづくり健康・福祉実行委員会と健康の駅長さんの共催で、下記の健康ウォーキングを行います。皆様のご参加をお待ちします。

日 程	3月 19日 土曜日 小雨決行
集 合 場 所	壬生野地区市民センター
集 合 時 刻	午前 8 時 30 分
出 発 時 刻	午前 9 時
帰着解散時刻	午前 11 時 30 分予定
コ ー ス	壬生野地区市民センター ⇨ 阿弥陀寺交差点 ⇨ ヤマギシ西口 ⇨ ヤマギシ梅園 ⇨ 川東地内 ⇨ 壬生野地区市民センター
その他	ペットボトルお茶、甘酒、生姜湯の準備をします。 雨天時は、壬生野地区市民センターでビデオ鑑賞とします。 小雨対策の雨具等は、参加者でご用意下さい。



新入園児・学童・生徒の交通安全にご協力を。

随分暖かくなってきました。まもなく入学シーズンを迎えます。チビッコの新しい生活がスタートし、環境が大きく変わります。

大きなランドセルを背負っての通学や、新たに、徒歩から自転車通学に切り替わるお子さんもいると思います。送り出す親としては心配です。最も気をつけなければならないのは交通事故です。

地域の皆さん、一層の安全運転に自ら徹するとともに、こどもたちを見かけた場合は、交通安全の確保にご協力、ご指導をおねがいします。



編集後記

まちづくり協議会の広報誌担当として、年度初めは不安と心配の中、手探りでスタートしましたが、過ぎてしまえば、あっという間に一年が過ぎた感じです。地域の皆様に価値ある情報、親しめる情報の提供と地域のコミュニケーションの促進にと取り組んできました。一年間ありがとうございました。

広聴広報実行委員会一同

◇◇◇◇ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せ下さい。 ◇◇◇◇
壬生野地域まちづくり協議会広聴広報実行委員会 TEL: 45-8900

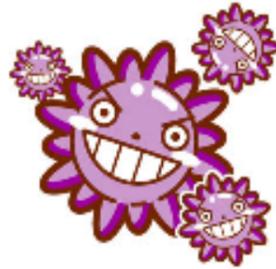
風邪 と インフルエンザ

「かぜ」とは、鼻・のど・気管などの呼吸器にさまざまな病原体が感染して起こる急性の病気の総称で、正確には「かぜ症候群」と言います。「急性鼻炎」「急性咽喉炎」「急性扁桃炎」「気管・気管支炎」などを含んでいます。病原体のほとんどは、ライノウイルス、アデノウイルス、コクサッキーウイルス、または子どもに多いRSウイルスなどのウイルスです。

病原体はさまざまでも、症状はだいたい似ています。くしゃみ、鼻水、のどの痛み、咳などの呼吸器の症状と、発熱や頭痛などの全身症状が出現します。

一方、「インフルエンザ」とはインフルエンザウイルスが原因で起こる病気で、通常日本では、毎年11月下旬から12月上旬にインフルエンザのシーズンが始まり、1～3月にピークを迎えます。

症状は、軽く済む人がいるのも事実ですが突然の発熱や全身の倦怠感などの症状が特徴です。「伝染性が非常に強く、あっという間に人から人へうつり、広い範囲で流行すること」「症状が激しく重症化しやすいこと」「肺炎や脳症などの合併症や持病の悪化を引き起こして、死に至ることもあること」などから、慎重な予防対策と発生した後の対応が必要で、普通のかぜとは区別すべき病気です。



	インフルエンザ	かぜ
発病	急激	比較的ゆっくり
症状の部位	強い倦怠感など全身	喉や鼻など局所的
悪寒	強い	軽い
発熱	高い、しばしば39～40℃	ないか、あっても37℃
からだの痛み	強い	なし
重病感	あり	なし
鼻・咽喉炎	全身症状に継続して起こる	先行して起こり、特徴的にみられる

これらは典型的な症状とされるものですが、インフルエンザウイルスに感染していてもこれらの症状がすべて現れるわけではありません。一般に、重症化しない限りは、症状はだいたい約1週間でおさまりますが、高齢者などでは肺炎等の合併症を起こしやすいため注意が必要です。

インフルエンザの予防方法

流行前にインフルエンザワクチンの接種を受ける。インフルエンザが流行したら人込みや繁華街への外出を控える、外出時にはマスクを利用する、室内では加湿器などを使用して適度な湿度に保つことです。

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫で放出されたウイルスを、のどや鼻から吸い込むことによって感染します。空気が乾燥すると、インフルエンザにかかりやすくなります。これはのどや鼻の粘膜の防御機能が低下するため、外出時にはマスクを着用したり、室内では加湿器などを使って適度な湿度（50～60%）を保つとよいでしょう。

- 十分な休養、バランスの良い食事
日ごろからバランスの良い食事と十分な休養をとり、体力や抵抗力を高めることが大切です。
- うがい、手洗いの励行
帰宅時のうがい、手洗いを感染予防のために励行しましょう。

記事はアイテラス製薬ホームページから引用。

「壬生野地区市民センターをご利用ください!」

平成20年12月1日、壬生野地区市民センターがオープンし、以来2年余りが経過しました。市民センターでは、地域の皆様方への行政サービス業務や文化サークル活動など生涯学習の場としての貸館業務を行っています。



<業務概要>

○センター業務

- 市民窓口業務の一部について証明書の交付などを行っています。
(戸籍謄抄本の写し、住民票の写し、印鑑登録証明書、所得証明書、課税証明書の交付、国民健康保険に係る届出など)
- 市広報、県広報、その他行政からの各種広報物の地区への文書等の送達をはじめとして地域の皆様と行政との連絡を行っています。

○貸館業務

- 市民サークル活動や地域の自治会関係、文化、PTA、体育、児童福祉会、老人クラブ、福祉などの団体の集会等に貸館を行っています。

○まちづくり協議会事務局

- 当センターには、まちづくり活動の拠点基地として壬生野地域まちづくり協議会事務局が設置されています。まちづくり協議会では事業の一環として住民の皆さんにお気軽に立ち寄りいただくため、コーヒーやお茶などを準備してサロン運営を毎日(平日)開いておりますので、地域の皆さん誰でもご自由にお立ち寄り下さい。

市民センター利用状況

(平成23年2月末現在)

利用団体	回数	人数	時間
市関係 (報告会、懇談会など)	6	155	12.5
まちづくり協議会 (役員会、実行委員会、催し物など)	61	899	153.0
一般の団体 (市民サークル活動など)	85	767	266.5
合計	152	1,821	432.0

開館時間：8時30分～17時15分まで(土・日、祝日、年末年始を除く)

※センターの利用についてお申込みは、下記までお問い合わせください。

〒519-1424 伊賀市川東4539番地の4

電話 45-8900 FAX 45-8901